

Toad DevOps ツールキット

Oracleデータベース開発を統合することによってDevOpsを促進します。

今日の組織は、ソフトウェアとアップデートの作成、テスト、リリースを迅速かつ信頼性の高い方法で行わなければならないという大きなプレッシャーにさらされています。こうした組織の多くは、アジャイル手法や継続的インテグレーションおよび継続的デリバリー技術を使用し、これらのプロセスを自動化するために、DevOpsを導入してきました。

しかし、データベースはその複雑さと繊細な特性により、従来は開発と管理が別々に行われてきました。そのため、全体としては俊敏性の高いDevOpsワークフローの中でデータベース開発は大きなボトルネックになっていたのです。

Toad DevOpsツールキットは、品質、パフォーマンス、信頼性を犠牲にすることなく、DevOpsワークフロー内でデータベース開発用の主要な機能を容易に実行できるようにすることで、このボトルネックを排除します。

このユニークなWindowsアプリケーションは、Toad for Oracleの主要な機能をプログラム可能なオブジェクトとして公開します。例えば、以下を行うことができます。

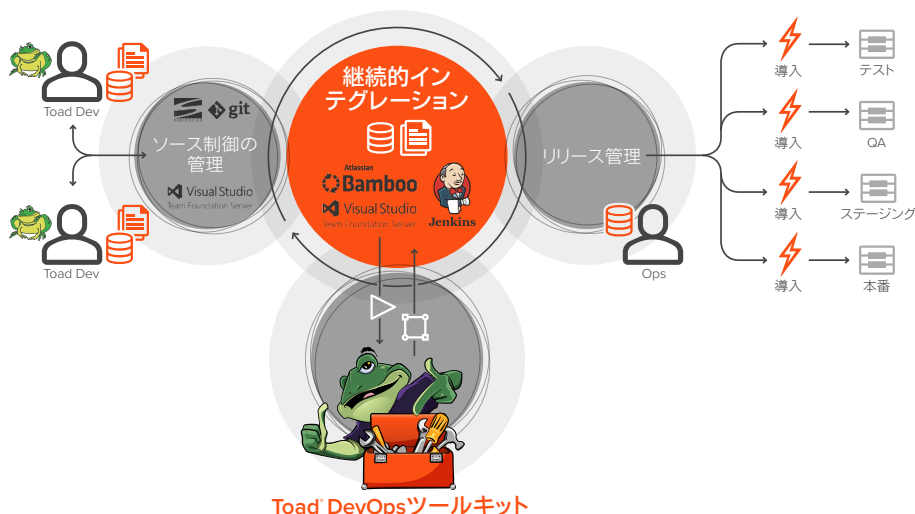
- PL/SQLコードをテストして機能の正確性を確保する
- 品質および保守性に関する基準をコードが満たしているかどうかを確認する
- データベース、スキーマ、データの比較および同期を実行して、整合性を確保し、リスクを軽減する
- データベースの変更を物理的に導入するためのスクリプトを実装する

DevOpsスクリプトを実装することで、結果的に、JenkinsやBambooなどのDevOps自動化ツールに継続的インテグレーションプロセスの一環としてデータベース関連の手順を含めることができるため、コードの品質を確保しつつ、プロジェクトの完了を早めることができます。

Toad DevOpsツールキットを使用することで、品質、パフォーマンス、信頼性を犠牲にすることなく、DevOpsワークフロー内でデータベース開発用の主要な機能を実行できます。

メリット:

- データベースの開発、テスト、導入の各タスクをDevOpsワークフローに統合する
- 継続的インテグレーションおよび継続的デリバリーの環境において静的コードの品質に関する統計情報を提供する
- PL/SQLコードの機能および品質基準をテストし、構築プロセスに合格/不合格を通知することによってコードの品質向上を促進する
- レポートの内容を各種の形式（HTML、JSONなど）で構築プロセスに提供する
- アプリケーションとデータベースの導入プロジェクトの期限を確実に守ることができる
- 現在のDevOpsプロセスへの影響を最小限に抑え、生産性を向上させる
- ほとんどの継続的インテグレーションツールおよび継続的デリバリーツール（Jenkins、Bamboo、Mavenなど）と統合できる



Toad DevOpsツールキットによるデータベース開発とDevOpsプロセスの統合を示すワークフロー

システム要件

システム要件の詳細については、リリースノートを参照してください。

クライアントの要件

インターネット接続

インテルPentium PC

Toad for Oracle (32ビット) :
1 GBのRAMと120 MBのディスク容量

Toad for Oracle (64ビット) :
2GBのRAMと150MBのディスク容量

Oracle ClientまたはInstant Client 12c (Windows XPはサポート対象外)

サーバの要件

Oracle 8.0.6~12c

すべてのハードウェアプラットフォーム

クラウド・データベース・サービス

Amazon EC2またはOracle データベース・クラウド・サービス

仮想化のサポート

アプリケーション:
Citrix XenApp 5.0および6.5

デスクトップ: vWorkspace 7.0

サーバ: Oracle VM 3.1,
VMware ESX 3.5

特長

- **DevOpsパイプラインの迅速化** — DevOpsプロセス内のデータベースとアプリケーションの変更を同期することで、アプリケーションとデータベースの導入期限を確実に守ることができます。
- **コードの品質向上** — Toadの主要な機能をプログラム可能なオブジェクトとして公開することで、Toad for Oracleの優れた機能を活用し、自動構築プロセスにおけるコードの品質を向上させることができます。
- **PL/SQLテスト** — 構築プロセスにおいてすべてのPL/SQLコードのユニットテストを実施し、合格/不合格のステータスを通知することで、機能の正確性を確保します。
- **静的コードのレビュー** — 事前定義されたルールに従って静的コードのレビューを実施し、事前定義されたしきい値に基づいて合格/不合格のステータスを通知することで、品質と保守性を改善します。
- **データベース、スキーマ、データの比較** — ソースとターゲットのデータベース（開発とテストなど）の構成、スキーマオブジェクト、テーブルデータを比較し、同期スクリプトを生成します。
- **スクリプトの実行** — ビルド成果物をターゲット環境にプロモートし、成功または失敗のステータスをレポートします。
- **DevOpsツールの選択** — ほとんどの継続的インテグレーションツールおよび継続的デリバリーツール（Jenkins、Bamboo、Mavenなど）と統合できます。
- **容易な導入** — Windowsマシンで実行できるため、既存のDevOpsプロセスへの影響を最小限に抑えることができます。
- **信頼できるベンダー** — Questチームは、高信頼性かつ高品質の包括的なソリューションおよびエンタープライズレベルのテクニカル・サポート・サービスの提供に関して長い実績を持っています。

QUESTについて

Questでは、複雑な問題をシンプルなソリューションで解決することを目的としています。当社は、優れた製品と優れたサービスを大切に、シンプルにビジネスを行うという全体的な目標を重視する哲学をもって、これを達成しています。当社のビジョンは、効率性と有効性のどちらかを選ばなければならないような状況をつくらないテクノロジーを提供することです。これにより、お客様と組織はIT管理の時間を短縮し、より多くの時間をビジネスの革新に費やすことができます。